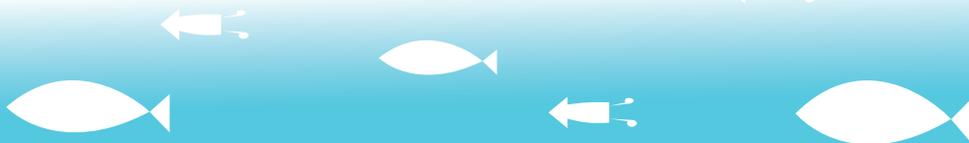


# 勝本浦で なんしよいん？



## 馬場崎公園がきれいになっています！

勝本まち協では、魅力的な景観を維持し、地域内外の多くの方が楽しめる場をつくることを目的として、公園や遊休地の整備や植栽、老朽化した設備の改修を行う事業「勝本浦イロドリプロジェクト」の開始に向けて準備を進めています。昨年から、馬場崎公園で試験的にひまわりを植えるなど少しずつ取り組みを進めていましたが、先行して、近隣の有志の方々により使われなくなって荒れていた旧ゲートボール場の整備が進み、半年をかけて見違えるようにきれいになりました。全て手作業（！）で整備されていて、最近ではかわいいお花も増えました。

今後、このように勝本浦のために活動するボランティア団体の支援も進めて行く予定です。



## あゆみの会の配食サービス



これまで社協で支援されてきたあゆみの会の月1回（7・8・9月を除く）の配食サービスを勝本まち協と霞翠まち協で引き継ぐことになり、昨年

1年間の業務引継ぎ期間を経て、今年度より本格的に両まち協が連携して支援を行っています。高齢者や障害者の方を対象とした配食サービスの活動は昭和59年から約40年間続いています。メンバーはベテランぞろいで、手際よく調理を進めます。そうしてできたお弁当は本当に美味しい！利用されている方の楽しみやメンバーの方々のやりがいを実現しているこの活動を今後も応援していきます。

## ボランティアスタッフ募集中！

ボランティアスタッフを随時募集しています。「勝本浦のために何かしたい！」「ボランティア活動に興味がある」という方、一緒に活動してみませんか？ご登録いただいた方には活動に関する情報をお届けします。都合のよいときのみの参加でOKです！右のQRコードからスマートフォンで申し込みができますので是非ご登録ください。

↓登録はこちらから↓



勝本浦まちづくり協議会  
ボランティアスタッフ  
大募集！！

1 ども留守ボランティア  
お留守の期間中にこどもたちの見守りや学習支援を行います。  
※月：数本地区別（予定）

2 清掃活動ボランティア  
基本地区の清掃活動や植栽、雑草刈りなど、地域をきれいにします。

3 イベント運営ボランティア  
基本地区の行事、活動イベントの運営をサポートしていただきます。

～必ずボランティア登録を！～

1. 2022年6月16日発行の広報紙に掲載されています。  
2. 協会のホームページに掲載されています。  
3. インターネット検索、協会のホームページから検索。  
【検索フォーム】<http://www.shimokita-shi.jp/kyokuhon/>

お問い合わせ先：勝本浦まちづくり協議会 事務局（電話）0985-22-1111  
〒985-0801 宮城県仙台市青葉区南1-1-1 勝本浦まちづくり協議会  
【電話】0985-22-1111（受付時間）9:00～17:00

## 勝本浦に想いをはせて

① 伊能忠敬2

N・S

(前回までのお話・・・およそ二百年前、伊能忠敬は地図作製測量のため勝本浦を訪れている。壱岐に到着して8日後、湯ノ本・本宮・御手洗・タンス・御棚・馬場崎・聖母宮(正村)・鹿ノ下・黒瀬・田ノ中・本浦・お茶屋敷を廻り宿舎に入った。)

翌日は、やはり午前6時には宿舎を出て、亀石・国分方面の測量を実施している。翌々日には出発、午前6時に田ノ浦から船で串山半島にむかい戻り天が原・長瀬鼻まで。

4日目現在の勝中への坂を上り勝中グラウンド付近・平川・新城触(若宮神社)・新城村方面の測量をして宿舎に帰っている。その後3日間ばかり風待ちで勝本浦にとどまり順風につき午前7時頃勝本浦を出船。

対馬厳原へむかっている。

壱岐での宿泊はおよそ半月、勝本での宿は一般の民家だったのだろうか。土肥家とあるが定かではない。いずれも出立は午前6時頃と早い。準備のため早くから起床していたと考えられるが幕府の公人としてのつとめであったのだろうか。

記録によると正村・本浦を歩いている。一行が進んだ道をしのぶと興味はつきない。

山越えでの弁当・竹筒での水も使ったであろう。地元の人々の道案内も大切な仕事だったであろう。こんな事を考えると一行の行動には更に興味津々である。



## 勝本浦の言葉を考えてみた

## 6. 食べなあれ、しなあれ

再び、勝本弁のルーツについて考えてみたいと思います。先日、テレビ番組の中で、“食べてね”の和歌山弁として「～食べなあよ」という言葉が出てきました。そこでふと、そういえば・・・と思い出した勝本弁があります。最近では聞く機会がずいぶん少なくなりましたが、人におすすめする時や、行動などを促すとき「～なあれ」と言うときがあります。例えば、「食べなあれ」「しなあれ」「持ちち行きなあれ」など。

「～なあれ」を関西弁で置き換えてみると、「～なはれ」となります。音は、ほぼ同じ。使い方も同じです。鯨組が活躍していた時代、壱岐で最初に捕鯨を始めたのは紀州熊野(現在の和歌山南部)の日高氏であったし、田ノ浦に捕鯨のための納屋場が置かれた後も関西各地との交易・交流は続いていたはずで、その時の記憶が言葉として残った、と思うと一瞬、時空を超えたような心持ちになりました。

## ! SNSしよいよ!

SNSで勝本浦の情報などを発信しています。「勝本浦まちづくり協議会 事務局」もしくは#壱岐、#勝本、#勝本浦などで検索すると投稿をご覧ください。



Instagram/ インスタグラム  
instagram.com/katsumotoura\_town\_planning/



Facebook/ フェイスブック  
facebook.com/katsumotouratownplanning



LINE 公式アカウント  
https://lin.ee/wUVrurv



Twitter/ ツイッター  
twitter.com/gyYZRB5CfDokUZ2



発行 勝本浦まちづくり協議会 事務局

〒811-5501 壱岐市勝本町勝本浦 211-3 勝本地区公民館内

TEL : 090-9576-7285 email : katsumoto020301@gmail.com

担当 : 坂本 栄子